

# 「墨田区都市計画マスタープラン」改定区民ワークショップ 第3回 ワークショップの概要

## 概要

テーマ：学ぶ・つくる「まちの資源や課題をまとめて将来イメージを膨らませよう」

日時：2006年12月8日 19:00～21:00

会場：墨田区役所 13階 131会議室

第3回のワークショップでは、事前にまちを歩いていた（第2回ワークショップ）ため、各グループでこれまで以上に多くの意見が出され、活発な議論が行われました。

今回は総勢20名が4つのグループ毎に、まちあるきのルートを振り返りながら、白地図や模造紙にまちの資源や課題をまとめました。最後には各グループの特徴が十分に出た発表が行われました。

## 当日の流れは・・・



はじめは「あいさつ」と「進め方の説明」



地図を見ながら・・・



写真を見ながら・・・  
まちを歩いて気がついた点を議論します



最後は第1回と同じように議論の成果を発表  
「お疲れ様でした」

## 次回の予定は・・・

これまでの作業を通じて見えてきた資源や課題、テーマに沿って、いよいよまちづくりの目標や具体的な方策などを検討し、まとめていくことになります。

（注）ワークショップは事前に参加登録をさせていただいた方にお集まりいただき、これからのまちづくりと20年後の墨田区の将来像について検討しています。参加登録をしていないけれどもワークショップの内容や検討中の案に対するご意見・ご感想・お問い合わせなどがあるという方は [toshikeikaku@city.sumida.lg.jp](mailto:toshikeikaku@city.sumida.lg.jp)（墨田区都市計画課）までご連絡ください。

Aグループで話し合われた内容は・・・（意見の一部をご紹介します）

Aグループ：荒川沿いの墨田・八広地区に堤通・東向島地区の一部を加えた、おおむね明治通り以北の区の北端部に位置するエリア

～「ルールづくり」と「モデルケースづくり」～



Aグループでは、まちあるきの際に各自が撮影した写真を1枚ずつ紹介し、ルートを振り返りながら良い点、悪い点を述べ合いました。出された意見を整理した結果明らかになった「新旧のバランス」という課題に対して「ルールづくり」「モデルケースづくり」という方向性が見えてきました。

～ 新旧のバランス ～

< 現状と課題 >

古くても良い建物がある

- × 新しい住宅がこぎれいで周りにあっていない
- × 空き地や駐車場になってしまっているところがある

建物が隣り合うところに昔ながらの木製の物干しが置かれ、おもしろい空間がつけられているところがある  
幹線道路ではなく、内側の細く行き止まり道路など良いものがある

- × 細い道路や行き止まり道路は避難上の問題あり

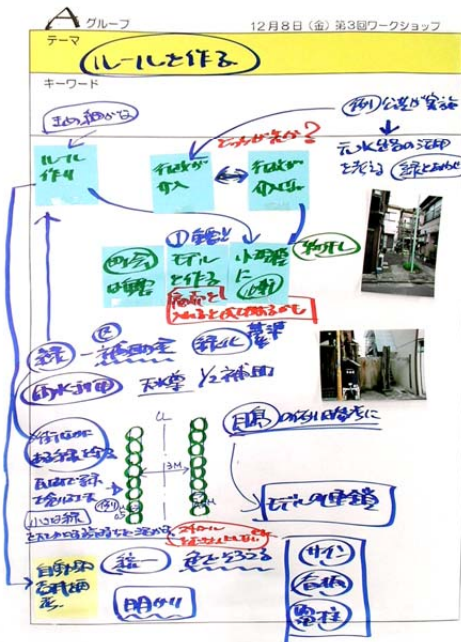
< 今後の方向性 >

- ・ 空き地はポケットパークにできないか
- ・ 植栽を植えて街並みづくり（小さな緑を大切に）
- ・ 道は広げない方がよい
- ・ 消防水利は必要
- ・ 防災性向上の手法は多様に
- ・ 住民の意識を変える（家の外にも目を向ける）
- ・ 更新するものと守るものを選定する

～ ルールづくり と モデルケースづくり ～

< 今後の方向性 >

- ・ ルールを作る
- ・ 建物の色や塀の材料をあわせる
- ・ サイン・看板の統一性、電柱の地中化
- ・ 自動販売機の色を揃える、明かりを控えめにする
- ・ 発砲スチロールのむき出しの植木鉢はおかない
- ・ 小さな単位でのルールづくり
- ・ モデルケースをつくる
- ・ 堤通の階段は良い例
- ・ 商店街を入れて地域の活性化を実現する取り組みを
- ・ その他
- ・ (公共が実施) 緑と合わせて元用水路の活用を考える
- ・ きめ細かなルールを積み重ねる / モデルの成功例を連鎖させる



## Bグループで話し合われた内容は・・・（意見の一部をご紹介します）

Bグループ：東向島・向島・京島といった密集市街地のまちづくりと曳舟・押上・業平橋といった大規模開発が並んだ区の中央部に位置するエリア

～ 「路地の保全」「地域に開かれたマンションづくり」「地域住民のための商店街づくり」～



Bグループでは、まず2日間に分けて行ったまちあるきを振り返り、京島～押上、向島周辺という地域ごとに意見交換を行いました。その結果、歩けるまちを目指す「路地の保全」、コミュニティの保全を目指す「地域に開かれたマンションづくり」、地域住民のための商店街づくりの3テーマがまとまりました。

### ～ 地域別の現状と課題 ～

#### < 京島の現状と課題 >

- 商店街は買い物しやすい道幅でちょうどいい。多くの人が買い物に来るのもそのためだと思う
- 狭い道は人のための道路、歩きたくなる道路に
- × 昔は亀戸からもキラキラ橋商店街に買い物に来ていたが今は近隣型の商店街になってしまった
  - × 昔の建物が核家族という今の家族構成にあわなくなっている
- ・ 防災に強いコミュニティ住宅などの集合住宅ができていますが、これが京島の理想形なのか

#### < 向島の現状と課題 >

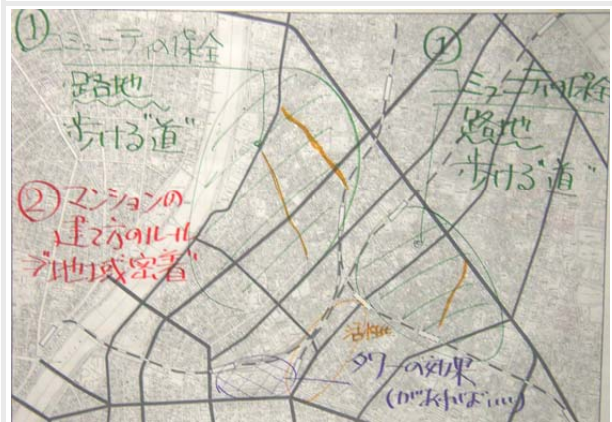
- 昔の雰囲気の良い路地が残っている
- 趣のある長屋などが残っていて、芸術家が住みアトリエとして利用している
- × 地蔵坂通りは道幅が広く、買い物しづらい（商店街が道路で分断されている）
  - 小梅通りは、幅員が広いがあまり車が走っていないので、有効利用できないか

#### < 押上の現状と課題 >

- ・ タワー開発の全容がまだ見えていないので、押上の商店街がどうなるのかイメージできない



現状と課題



今後の方向性

### ～ 共通事項 / 今後の方向性 ～

- ・ 路地は京島、向島を語る上でなくてはならないものだが、防災面では課題があり、まちづくりを考える上では矛盾がある
- 歩ける道、歩いて買い物に行ける道
- ・ 地域と独立したマンションが建ってしまった
- マンションの建て方のルール、地域に密着し地域に開かれたマンションづくり（古い建物を貸し借りする「建物バンク」のような仕組みができればいい）
- ・ タワーに来た人が京島や向島に来るか疑問
- ・ タワーに来た人は、足がないと向島にはいけない（歩くには距離がある）
- タワーの波及効果に頼らない商店街の活性化、地域住民のための商店街づくり（亀戸線を世田谷線のようにできないか）

Cグループで話し合われた内容は・・・（意見の一部をご紹介します）

Cグループ：小村井、東あずまの2駅を中心に広がる立花・文花地区に旧中川で結ばれた東墨田地区を加えた、区の東端部に位置するエリア

～「道路」「マンション・住宅」「公園と水辺」「公共施設とPR」～



Cグループでは、まちあるきの際に撮影した写真を順番に見ながら全員でルートを振り返りました。写真毎に、青（良い点）、赤（悪い点）、黄（その他）の3種類のメモを用いて意見を整理し、特に関心の高かった「道路」「マンション・住宅」「公園と水辺」「公共施設とPR」という4テーマにまとめました。



～ 道路について ～

< 現状と課題 >

- ・広い道路で周りに何もないもの、狭い道路で先はどうなっているのかというようなものなどが目立った

～ マンション・住宅について ～

< 現状と課題 >

- 人が増えるのは良い
- × マンション住民は地域に出てこない

< 今後の方向性 >

- マンションの1階をお店に入れる
- 花や木を植えるなど皆が参加できるような活動

～ 公園と水辺について ～

< 現状と課題 >

- 小さい公園があちこちにあった
- × あまり利用されていない
- × 公園に草花が少ない（寂しい）

旧中川で整備が進められてきれいになった  
水鳥もいる・魚も釣れる

< 今後の方向性 >

- 四季それぞれの花が咲くようなイメージ（旧中川）
- 道路との間に柵がなければなお良い（旧中川）

～ 公共施設とPRについて ～

< 現状と課題 >

- 健康センターなど色々な施設がある
- 立花大正民家園は良かった
- × 良い施設があってもほとんど利用されていない
- × 交通の便が悪い
- × PR不足

< 今後の方向性 >

- お相撲さんと呼ぶなど墨田ならではのPR



Dグループで話し合われた内容は・・・（意見の一部をご紹介します）

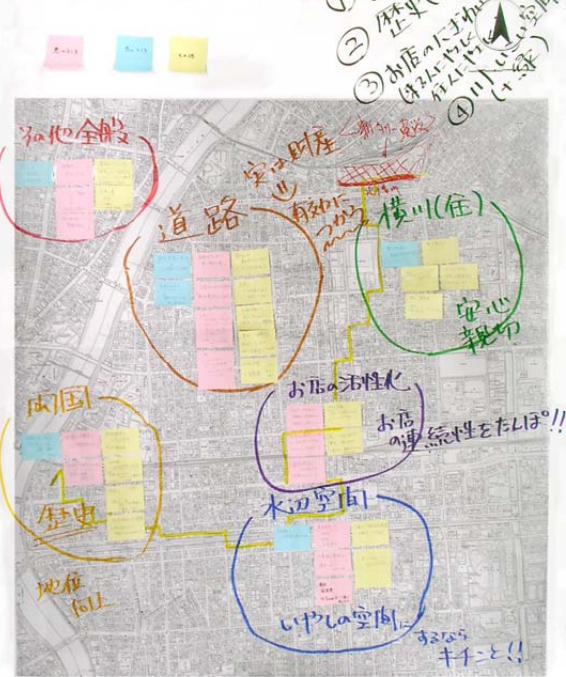
Dグループ：南部地域と称されるおおむね北十間川以南のエリア

～ 「道」「歴史・観光」「店のにぎわい」「川」～



Dグループでは、まちあるきの際に撮影した写真をもとに、青（良い点）、赤（悪い点）、黄（その他）の3種類のメモを用いて意見を整理しました。その後意見の集中した6つの項目から、さらに「みち」「歴史（・観光）」「お店のにぎわい」「川」の4つの検討テーマに絞り込みました。

Dグループ



川 ～ 憩い空間と緑 ～

< 現状と課題 >

- 大横川：癒される（江東橋から南側が寂しい）
- 竪川：ゆったりした空間
- 北十間川：民間開発により発展の可能性
- × 高速道路の下は見た目、防犯、水質など問題が多い
- × 親水公園に向けてのマンションの建て方
- × 全体的に緑が少ない
- < 今後の方向性 >
- ・ 水質浄化に取り組む必要がある

みち ～ 人と車と自転車のための道 ～

< 現状と課題 >

- 見通しの良い碁盤目の道路網が整備されている
- × 一方通行の道が広すぎて逆に使い勝手が悪い
- × 大通りの路上パーキングは事故を招く

< 今後の方向性 >

- ・ 暮らす人にとって安心して使いやすい道路であるべき
- ・ 歩行者が使いやすい道路が欲しい
- 道路の使い方を工夫する（一方通行道路など）
- 歩道の幅を広げて歩道と自転車専用道を確保
- 路上駐車場の設置を検討する

歴史（・観光）～ 過去 - 現在 - 未来 ～

< 現状と課題 >

- 両国に「ポイント」となる公園・施設がある
- きれいになった北斎通り
- × 史跡や見所までの道が分かりづらい
- × 路上の放置駐輪が各所で見られる

< 今後の方向性 >

- ・ 墨田の玄関としての両国エリアの復権
- 文学や歴史など両国の豊かな資源を活用する
- 両国（過去）～ 錦糸町（現在）～ 押上（未来）を巡る墨田の歴史巡る観光コース

店のにぎわい ～ 来る人にやさしく住民にやさしく～

< 現状と課題 >

- 町工場をリニューアルした中華料理店が
- × シャッターが下りた商店が多く商店街に活気なし
- × お店の並びが途切れ途切れになっている
- × 商店からマンションへの建替えが進んでいる
- × 両国の商店街に活気がない

< 今後の方向性 >

- ・ 大規模開発と周辺との接点を工夫したい
- ・ 町工場（なりわい）と居住の両立
- ・ 「建物の1階には商店を入れる」をルール化する